

会派の主張

（本会議の
質問など）

三面から六面の内容は
各会派が責任をもって
掲載しています。

民主東大阪

代表質問 寺田 広昭

原点に立ち返って、市民の安全安心の 視点に立った施策の見直しを！

―公共施設再編整備計画―
問 今回、第二回定例会において公共施設再編整備計画を再考し、一部前回の計画を見直した再考案が提案された。旭町庁舎に東福祉事務所、東保健センターの行政機能が戻ってくる案とされており、議会の議論を踏まえた見直しになってい

る。しかし、その他の項目については、そのまま前回の内容を踏襲されたものであり、関連予算についても時期等の関係から債務負担に切り替わっただけのものがある。特に市民会館の建て替えについては、現状のような大きなホールを有した会館が必要であるのか。

十分に検証もなしに建て替えありきでここまで来たのではないか。先般の台風十八号による大雨の影響で阪奈道路下り線で土砂崩れが起こった。今まさに、市民の安全安心が脅かされる状況が、目の前に迫っているといっても過言ではない。いま一度、原点に立ち返って、市民の安全安心の視点に立って、施策の見直しを図るべきではないか。

―職員の内任率―
問 職員の市内在任率は約五十パーセント、消防職員に限っては約四十パーセントであるとされている。人がどこに住むのかを制約することは制度として困難であることは重々承知しているが、やはり一人でも多くの職員が市内に居住するようにはしていくことは、市として取り組むべき重要な課題である。幾度となく議論となっているが、一層この

ことの必要性がきわだったものになっている。そこで職員の市内在任率についてどのように考えているのか、またその向上のためにどのように取り組んでいこうとするのか答えよ。

―子育て支援―
問 平成二十七年よりスタートする子ども・子育て支援の新制度について、夜間、休日の保育、病児、病後児の保育、また学童保育についても、現在の小学三年ま

公 明 党

代表質問 平田 正造
個人質問 吉田 聖子

誇れる市民会館と賑わいのある永和駅周辺整備を！ 子どもたちへ安全と安心の環境づくりを！

―災害時の
警報通達の徹底―
問 本年の台風十八号による豪雨によって、東部地区の一部では土砂崩れ等の被害が発生した。この災害時、避難勧告や避難指示の通達が困難な一部の地域があった。現在、市内全域に対するデジタル無線による警報

スピーカーシステムを構築中だが、それでも通達困難な住宅や地域が一部所もあるなら、より確かなシステムを構築すべきではないか。

―国保医療費の
適正化―
問 他市では、レセプトをデータベース化することで患者が処方された医薬品や診療内容を分析し、医療費削減に効果がある患者へ、継続服用している先発医薬品を安価な後発医薬品（ジ

―市民生活部長
レセプトの
データベース化については、
実現を図りたいがシステム
改修等の課題から時間が必
要である。なお、ジェネリ
ック医薬品を使用した場合
の差額通知については実施

―「中一ギャップ」
解消対策―
問 小学校六年生から中学校一年生に進学した際にギャップが生じ不登校やいじめ問題につながる中一ギャップ解消に向けた取り組みが各地で行われている。本市でも、小中連携教育に取り組んでいくが生活指導を含んだきめ細かな小中連携教育が必要である。現在行っている学力向上策での小中連携教育を生かしながら、

生徒指導や地域連携も含めた小中連携教育の導入をしてはどうか。

市長 すべての子どもが安心して学校に通い、勉学にいそしめるように、小中学校がさらに連携を強め、保護者や地域の力も借りた総合的な教育力を高めるよう指示してまいりたい。

―図書館の財源確保―
問 他市では、床面用広告マットの設置や、図書館の年間カレンダーの裏面に企業広告を掲載、図書館ホー

(次頁へつづく)